



2024 体育大会『努力の成果を見せつけろ!』



文化祭直後から、スイッチを体育大会に切り替え、学年ごとの種目・大縄・全員リレーの練習、そして、鹿中伝統の応援合戦の練習が始まりました。

例年以上に続く残暑、天候の急変、そして雨雲の停滞といった気象の状況の悪さがあったものの、みなさんは、限られた条件の中で「今、できることは何か」「今、やるべきことは何か」をしっかりと整理しながら、本番までの時間を過ごすことができていたと思います。

特に大縄は、まずはやってみるところから始まり、何度も足が引っかかり、縄がもつれていました。しかし、みなさんのスキルアップはすさまじいスピードで進みました。とりわけ、今年はグランドコンディションが整わず、練習のチャンスも少なかったのですが、いつしか「せーのっ」の声ひとつで息がぴったり合うようになっていました。

応援合戦も、練習当初は動きも手探り状態でしたが、見る人を引きつけるパフォーマンスの工夫をクラスで相談するうちに、放課後の学校のいたるところで、練習に励むみなさんの声や音が鳴り響いていました。仲間と共に心を一つにして、目標に立ち向かっているみなさんのかけ声を聞いているだけで胸が熱くなりました。

大会当日は、秋空のもと、さわやかな晴天に恵まれましたね。前夜にはけっこう雨が降りましたが、多くの役員・部活動の部員が早朝より準備を進めてくれたおかげで、たった30分ほど遅らせて開始することができました。

個人種目はもちろん、団体種目・全員リレー・大縄跳びでも、各クラスでお互いを励まし合いながら、「全員一致団結」の意気込みで仲間と共に取り組む姿が見られました。応援合戦はアイデア満載で、2分という限られた時間の無限の可能性をいろいろな形で披露してくれました。どのクラスも本当に素晴らしい演技でした。

競技が終わるたびに、柔らかく掘れてしまったフィールドの土をトンボで整美してくれた先生方、体育委員のみなさん、そして、きびきびと行動できた一人一人の生徒のみなさんの力で、例年とほぼ変わらない時刻に大会を終えることができました。

この大会で味わった「努力の成果」に向かって取り組んだ後の達成感やそのことで得た大きな自信は、みなさんの次のステップで必ず味方になってくれるはずです。いっしょに心の糧にいきましょう。



保護者のみなさまへ

平素は本校教育にご協力・ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

先日開催した体育大会では、ご来校・ご観覧いただき感謝申し上げます。保護者のみなさまの温かい応援・拍手に包まれ、生徒たちは、競技や演技など情熱あふれるパフォーマンスを見せてくれました。

おかげさまで10月11日をもって、本校は創立44周年を迎えることができました。今後も、生徒職員一丸となって、教育活動に取り組んでまいります。引き続き、ご支援いただきますようお願いいたします。



※「体育大会の様子」を本校ホームページ>学校生活の様子>Xより、アップしております。